

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

日刊 動労千葉

79.3.27

No. 72

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二五八・九(公衆電話)22七二〇七

『執行権停止』をはねのけ、1500名の参加をかちとる!!

3・25三里塚集会は、二期工事年内着工という森山発言に見られる新たな政府・空港公団の攻撃に対し、全国津々浦々から一万八千名というかつてない大結集をもって圧倒的にかちとられた。そして、わが動労千葉地本一四〇〇組合員は、革マルと一部反動分子の悪辣な「執行権停止」発動と破壊オルグを完全に粉碎して、労農連帯の正義をつらぬく三五〇名の参加をもって闘い抜いた。

3・25集会、二期工事年内着工阻止の展望を切り開く！

「5・20開港」という既成事実と「農業振興策」や「話し合い」によって、反対同盟を分断・屈服させ、農地を奪うというただただ強権とペテンをもって二期工事着工をもくろんでいる。

しかし、敷地内一七戸を先頭に一層団結をかためる反対同盟。ますます拡大する周辺住民の新たな騒音公害に対する闘い。わが動労千葉地本がハンドルを握ることによってその死命を制しているジェット燃料輸送問題。さらには、全国で三里塚を闘う多くの労働者・人民の様々な闘い等によって、逆に空港そのものの危機がますます深まっているのだ。

われわれは、この3・25集会を第一歩とする労農連帯三里塚・ジェット闘争を貫徹しなければならぬ。

革マル分子の卑劣な策動を粉碎し、
労農連帯の正義をつらぬく！

わが動労千葉地本は、この3・25集会に革マルと一部反動分子による3・19、20破壊オルグを全支部において粉碎し、撃退し、中央本部の名をもつてする不法・不当極まりない「執行権停止」攻撃を敢然とはねかえし、三五〇名というかつてない最大動員をかちとり、三里塚第一公園をうめつくした全参加者の熱烈な拍手と大歓声の中を鉄輪旗をひるがえし堂々と入場したのである。

革マルと一部反動分子は、3・25集会に千葉地本を参加させないために、「執行権停止」を発動したその上に、「3・25集会は、動労としては関知しない」との電話連絡第四四一号をもって発出し、徹底した三里塚敵対、動労千葉破壊を行って来た。

こうした革マルと一部反動分子の攻撃は、明らかに政府・空港公団の「二期工事年内着工」攻撃と軌を一にしたものであり、断じて許すことは出来ない。

われわれは、三里塚闘争に敵対し、労農連帯を否定し、わが動労千葉を破壊しようとする革マルと一部反動分子の「指令」をきっぱりと拒否し、3・25集会に参加することを通して、労農連帯・三里塚・ジェット闘争貫徹の正義の道の第一歩を力強く踏み出したのだ。

かちとつた強固な労農連帯の力で、
3・30臨大の圧倒的成功を！

全ての組合員の皆さん！
3・25三里塚集会における多くの発言者が強調していたように、今や三里塚闘争への公然たる敵対者、わが動労千葉地本の公然たる破壊攻撃を行うに至った革マル派をすべての地域、職場から追放・掃蕩しないかぎり、一さいの闘いの発展はないことが、ますます明らかとなっている。

われわれは、2・10臨大で打ち出した「貨物安定宣言」廃棄、「水本」脱会、「三里塚・ジェット闘争貫徹」「組合民主々義」の四つの闘う方針をもって動労内革マルとそれに追いつく一部反動分子との公然たる路線をめぐる闘いに立ち上り、動労の大改革運動を全国的に展開する決意を明らかにした。

そして、2・10臨大以降、革マルと一部反動分子の様々な卑劣な千葉地本破壊攻撃を一つ一つ粉碎してきた。

このことは、まさに、わが千葉地本の正しい方針と断固たる反撃によってかちとられたものである。

3・25三里塚集会をかちとつた力をもって、3・30臨大の圧倒的成功をかちとろうではないか。

3.25 三里塚 1万8千名の大結集で圧倒的に成功!

3.30 地本臨時大会を成功させよう
◇3月30日13時◇教育会館 全力結集!

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!